

## 題材名「いま、理科がおもしろい」

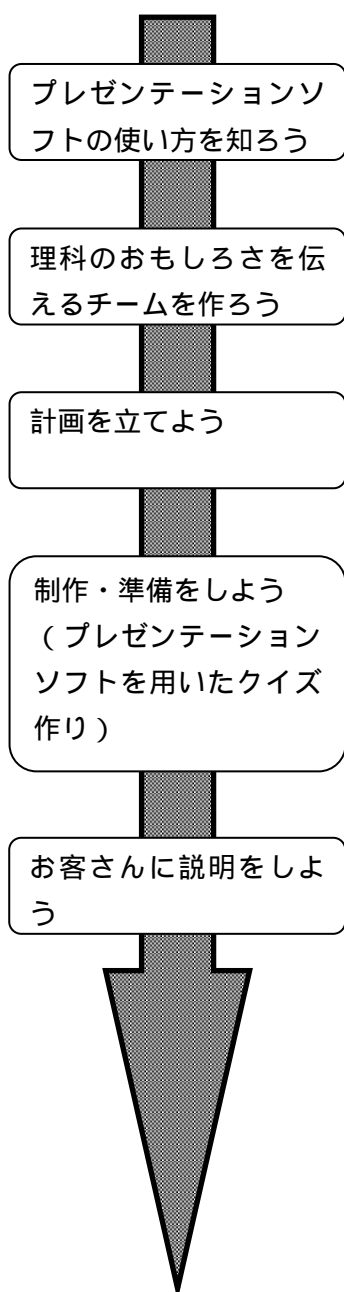
### 目 標

- ・ プレゼンテーションソフトの基本操作を身につける。
- ・ リンクの考え方を知り、それを生かした作品（クイズ）を作る。

### コンピュータを活用する利点

総合的な学習の発表会（ビバ有っ子）において、方法の一つとしてプレゼンテーションソフトを提示し、使用法を学習する機会を設けることで、児童の表現手段の幅が広がる。コンピュータ（プレゼンテーションソフト）を活用することで、アニメーションや効果音、リンクの機能などを使った選択型のクイズを簡単に作成することができる。

### 授業の流れ

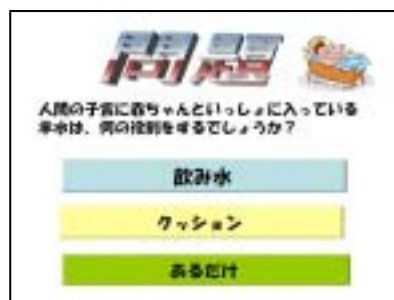


### ICT 活用場面

まず、各学級において、プレゼンテーションソフトの基本操作の実習（2時間）を行い、全ての児童が基本操作を身につけることができるようにする。

その上で、総合的な学習の発表会（ビバ有っ子）のテーマ「いま、理科がおもしろい」に向け、各学級でチーム分けを行い、クイズチームになった児童により、プレゼンテーションソフトを用いた3～4択クイズの作成を行う。

児童は自らさまざまな機能を試し、アニメーションや効果音、写真の使用、スキャナによる絵の取り込みなど、効果的な表現を考えていった。



### 成果と課題

プレゼンテーションソフトという新たな表現手段を用い、児童はそれぞれに自分たちのクイズの出来映えに満足していた。

クイズの作成に当たっては、キーボード操作が十分に行えない児童もいた。ローマ字表を用意したり、必要に応じクリックパレットを使用させたりしたが、キーボード操作などの基本技術を習熟させる時間を確保する必要があると感じた。

また、表現の手段としてコンピュータだけを選んでしまうのではなく、場合に応じて最適なものを選ぶことができる力も育てていく必要がある。

### ICT 活用環境等

使用周辺機器	デジタルカメラ3台・スキャナ1台 ノートパソコン37台
使用ソフト名	Microsoft PowerPoint
使用教室	コンピュータ教室